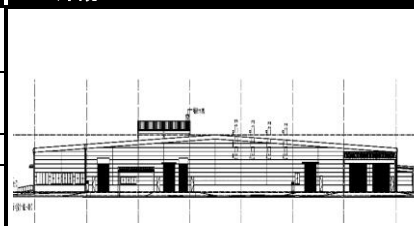


# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	追浜車両物流センター新築工事	階数	地上1F
建設地	神奈川県横須賀市夏島町2番50	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22条区域	平均居住人員	337人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,880時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年12月1日
敷地面積	37,232㎡	作成者	株式会社ナカノフドー建設建設東京本店一級建築士事務所
建築面積	22,819㎡	確認日	2020年12月1日
延床面積	22,780㎡	確認者	株式会社ナカノフドー建設建設東京本店一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 77%

③上記+②以外のオンサイト手法: 77%

④上記+オフサイト手法: 77%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** **Qのスコア = 2.8**

**Q1 室内環境** **Q1のスコア = 3.2**

**Q2 サービス性能** **Q2のスコア = 3.3**

**Q3 室外環境(敷地内)** **Q3のスコア = 2.1**

**LR 環境負荷低減性** **LRのスコア = 3.5**

**LR1 エネルギー** **LR1のスコア = 3.8**

**LR2 資源・マテリアル** **LR2のスコア = 3.4**

**LR3 敷地外環境** **LR3のスコア = 3.3**

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 建物の断熱等、外皮性能向上に努めることで熱負荷低減を図った。 設備機器は高効率のものをできるだけ採用している。		<b>その他</b> 廃棄計画とし、リサイクルにも積極的に取り組むため、付属棟の廃棄物置場を建設する。
<b>Q1 室内環境</b> 外皮を適切に断熱し、開口部にはLOW-Eガラスを採用することで冷房負荷を低減させ、温熱環境を向上させた。 外周部には可能な限り開口部を設けることで、光・視環境に配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 天井高さを高くし、空間にゆとりをもたせることで快適性に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建物の周囲には適切な植生を行い、良好な緑化空間を提供している。
<b>LR1 エネルギー</b> 適切に断熱し開口部にはLOW-Eガラスを採用するなど外皮性能を向上させ、建物の熱負荷を抑制させている。 LED照明を採用するなど設備システムの高効率化を図った。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> トイレの小便器・大便器に節水型を採用し省エネに配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 工場の排水について、基準以下となるよう敷地内に排水処理施設を設けた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される